

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

わたしたちの ぜんのうの しゅ（スバーナ ワ タアーラー）は、かぞえきれないほどの よろこばしい しゅくふくを わたしたちに さずけて くださいました。その なかでも、もっとも たいせつで かけのある しゅくふくがあります。その くだいなる しゅくふくとは、しんこうです。しんこうにより、ひとは こうじょうします。しんこうにより、こころは へいあん で みたされます。しんこうによって りょうしんは きよめられ、しんこうによって こころは やすらぎます。しんこうにより はか は てらされ、しんこうにより ふっかつの ばは しずけさを えます。しんこうによって ひとは アル=スィラート（みち）を あゆみ、しんこうによって ひとは らくえんにはいるのです。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

しんこうには、わたしたちの よげんしゃ（かれの うえに しゅくふくと へいあん あれ）が つたえた ぜんのうの アッラー（スバーナ ワ タアーラー）からの すべての メッセージを こころから みとめ、くちにして しょうげんすることを とめないます。ジブリール（アライヒッサラーム）の「しんこうとは なにか」という問いに、アッラーの しとは つぎのように こたえました。「アッラーと、その てんしたちと、その けいてんと、その よげんしゃたちと、ふっかつと、そして よいことも わるいことも、ひとには さだめられた てんめいがある としんじる ことです」。¹

ほんとうに、しんじて ありがたい おこないをしたものは、らくえんの にわを その すまいとし、えいえんに その なかにとどまり、そこ から でたいとは おもわないでしょう。² じぶんの しゅの みしるしも、しゅに まみえることになるのも しんじず、よげんしゃたちを ちょうしょうするものになっ てしまえば、その おこないは かけを うしない、らいせにおいて は じごくが その すまいとなります。³

しんあい なる ムスリム の みなさま！

わたしたちの しんじる かけかんを、まもり つづける どりよくを しましょう。わたしたちの て やした が、すべての いけるものにとって あんぜんであることが ほしょうできる よう ちゅういをはらい しましょう。こじんの、こうきょうの、そして こじの ざいさんと けんりを まもり、そんちょう しましょう。じぶんたちの まわりに、あいじょうとおもいやりを ひろめ しましょう。ぜんをおこなうことに こうふくと かんしゃを みいだし、あくをおこなってしまったときは かなしみをもって くいあらため しましょう。ありがたい ありがたで しゅ（スバーナ ワ タアーラー）にしたがい、しんこうの げんそくを しんに うけいれ、せいじつな すうはいをつづけ、ぜんりょうな どうとくにおいては だきようしない しんこうしゃこそが、げんせとらいせの こうふくを えるということを わすれないように しましょう。

¹ Ibn Hanbal, I, 28.

² Kahf, 18/107, 108.

³ Kahf, 18/103-106.